

## 紹介手数料率の実績の公開と違約金規約の明示が必要になります

令和7年4月1日から職業安定法に基づく省令及び指針が一部改正されます

### (1) 令和6年度に徴収した紹介手数料の実績(※)を、「人材サービス総合サイト」に掲載してください ※職種別の常用就職1件当たりの平均手数料率を算出。

公開の対象となる職種は、常用就職(\*)の実績が多い上位5職種となります。ただし、常用就職の実績が10件以下の場合は、掲載は不要です。

(\*) 常用就職とは、4ヶ月以上の有期又は無期で雇用されることを指します。

平均手数料率の計算は、取扱職種ごとに、

$$\frac{\text{求人者から徴収した手数料の総額（常用就職全件分）}}{\text{求職者の予定年収の総額（常用就職全件分）}}$$

で算出し、小数点第2位で四捨五入してください。

定額制により紹介手数料を徴収している場合は、平均手数料率の実績に代えて当該額を実績として掲載することができます。なお、定額以外でも手数料を徴収している場合（定額による徴収と手数料率による徴収とを併用している場合）は、平均手数料率を算出願います。

「令和6年度職業紹介事業報告」の提出後、速やかに「人材サービス総合サイト」に掲載してください（「令和7年度職業紹介事業報告」以降も同様に掲載してください）。

### (2) 違約金規約を設けている場合、令和7年4月1日以降に求人者から求人の申込みがあった際には、明示をお願いします。

これまでは

取扱職種の範囲等、手数料に関する事項、苦情の処理に関する事項、求人者の情報や求職者の個人情報の取扱に関する事項、返戻金制度に関する事項の明示が義務となっています。



今後は加えて

求人者に対する違約金規約を設けている場合には、規約の明示もお願いします。その際には違約金の額、違約金が発生する条件及び解除方法を含む契約の内容(\*)について、分かりやすく明瞭かつ正確に記載した書面又は電子メールその他の適切な方法により、あらかじめ求人者に対し誤解が生じないように明示してください。

(\*) 本人が採用辞退後に別ルートで採用などの際に違約金を適用する場合や、利用契約の更新に関するルールも含まれます。

## よくあるお問い合わせ

### (手数料実績開示)

Q.手数料率実績の公開について、過去の年度（令和5年度職業紹介事業報告以前）や実績が多い上位5職種以外の職種については公開する必要はないでしょうか。

A.公開義務があるのは、直近年度であり、常用就職の実績が多い上位5職種のみです。  
なお、常用就職の実績が10件以下の場合は掲載不要です。

### (違約金明示)

Q.令和7年3月31日までに求人者の申込みがあった求人者に対しても、違約金や解除方法を含む契約内容を分かりやすく明示する必要がありますでしょうか。

A.令和7年3月31日までは改正指針の内容は適用されません。ただし、後々に求人者とトラブルにならないよう、改正指針の趣旨を踏まえ対応するようお願いします。

Q.求人者に対して利用規約等を書面で見せるだけでは明示として不十分でしょうか。また、ホームページに掲載することで明示することになりますか。

A.利用規約等について求人者に対して見せた文面と同じものを、契約締結後に求人者が確認できる必要があります。求人者の手元に規約等が残るなど再読できる状態にあることが重要です。例えば、職業紹介事業者が求人者に対し、①単にホームページの該当箇所を教示する、②ホームページ上で規約自体をスクロールで確認させ、同意ボタンを押させる、といった方法のみでは、求人者が同一文面を再読できない可能性があり、後々のトラブルの原因となるおそれがあることから、適切な方法で明示しているとはいえません。

違約金等について、対面での説明の場合は、分かりやすく明瞭かつ正確に記載した書面を手交し、非対面での説明の場合は、同様の書面を郵送又は電子メールで送付するといった手法を基本とします。それ以外の手法であってもこれと同等の効果をもたらすものといえる手法を用いて行ってください。

Q.「違約金」とは具体的に何を指すのでしょうか。

A.「違約金」といった名称はあくまで例示であり、事業の利用に関連して求人者が負担する金銭についてはあらかじめ誤解が生じないように全て明示してください。

Q.明示対象となる金銭の具体的な金額があらかじめ定まっていなかった場合には、どのように示せばいいでしょうか。

A.算定方法等を示すことにより、求人者が想定していない請求を受けることがないように分かりやすく明示願います。

Q.「解除方法」とは何の解除方法でしょうか。

A.サービスの利用に関する契約の解除方法を指します。

詳細は、都道府県労働局需給調整事業課室までお問い合わせください。

### 都道府県労働局 お問い合わせ先

| 労働局 | 課室        | 電話番号         | 労働局 | 課室        | 電話番号         | 労働局 | 課室      | 電話番号         |
|-----|-----------|--------------|-----|-----------|--------------|-----|---------|--------------|
| 北海道 | 需給調整事業課   | 011-738-1015 | 富山  | 需給調整事業室   | 076-432-2718 | 島根  | 職業安定課   | 0852-20-7017 |
| 青森  | 需給調整事業室   | 017-721-2000 | 石川  | 需給調整事業室   | 076-265-4435 | 岡山  | 需給調整事業室 | 086-801-5110 |
| 岩手  | 需給調整事業室   | 019-604-3004 | 福井  | 需給調整事業室   | 0776-26-8617 | 広島  | 需給調整事業課 | 082-511-1066 |
| 宮城  | 需給調整事業課   | 022-292-6071 | 山梨  | 需給調整事業室   | 055-225-2862 | 山口  | 需給調整事業室 | 083-995-0385 |
| 秋田  | 需給調整事業室   | 018-883-0007 | 長野  | 需給調整事業室   | 026-226-0864 | 徳島  | 需給調整事業室 | 088-611-5386 |
| 山形  | 需給調整事業室   | 023-676-4618 | 岐阜  | 需給調整事業室   | 058-245-1312 | 香川  | 需給調整事業室 | 087-806-0010 |
| 福島  | 需給調整事業室   | 024-529-5746 | 静岡  | 需給調整事業課   | 054-271-9980 | 愛媛  | 需給調整事業室 | 089-943-5833 |
| 茨城  | 需給調整事業室   | 029-224-6239 | 愛知  | 需給調整事業第一課 | 052-219-5587 | 高知  | 職業安定課   | 088-885-6051 |
| 栃木  | 需給調整事業室   | 028-610-3556 | 三重  | 需給調整事業室   | 059-226-2165 | 福岡  | 需給調整事業課 | 092-434-9711 |
| 群馬  | 需給調整事業室   | 027-210-5105 | 滋賀  | 需給調整事業室   | 077-526-8617 | 佐賀  | 需給調整事業室 | 0952-32-7219 |
| 埼玉  | 需給調整事業課   | 048-600-6211 | 京都  | 需給調整事業課   | 075-241-3225 | 長崎  | 需給調整事業室 | 095-801-0045 |
| 千葉  | 需給調整事業課   | 043-221-5500 | 大阪  | 需給調整事業第一課 | 06-4790-6303 | 熊本  | 需給調整事業室 | 096-211-1731 |
| 東京  | 需給調整事業第一課 | 03-3452-1472 | 兵庫  | 需給調整事業課   | 078-367-0831 | 大分  | 需給調整事業室 | 097-535-2095 |
|     | 需給調整事業第二課 | 03-3452-1474 | 奈良  | 需給調整事業室   | 0742-88-0245 | 宮崎  | 需給調整事業室 | 0985-38-8823 |
| 神奈川 | 需給調整事業課   | 045-650-2810 | 和歌山 | 需給調整事業室   | 073-488-1160 | 鹿児島 | 需給調整事業室 | 099-803-7111 |
| 新潟  | 需給調整事業室   | 025-288-3510 | 鳥取  | 職業安定課     | 0857-29-1707 | 沖縄  | 需給調整事業室 | 098-868-1637 |